

式 辞

天地、内外とも平和が達成されるという願いをこめた元号「平成」。平成の最後の冬は、その意を表すかのように穏やかに終わろうとし、光や暖かさに春の訪れと、新しい時代へと移りゆくエネルギーも感じる季節になりました。本日はここに、島根県教育委員会から萩 雅人様、松農会副会長 吾郷 生善様、PTA会長 野々村 卓也様をはじめ 26 名のご来賓の皆様にご臨席を賜り、卒業証書授与式をこのように盛大に挙行できますことに、高いところからではありますが心より御礼申し上げます。

ただいま卒業証書を授与しました、第 117 期生 157 名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これまでの皆さんの努力と研鑽を心から讃えたいと思います。本日のこの喜びは、卒業生の皆さんのたゆまぬ努力の結果であることは言うまでもありませんが、皆さんのことを絶えず気遣いながら、支えてくださったご家族と周囲の方々の励ましの賜物であることを決して忘れてはいけません。この人生の節目に当たり、お世話なった方々へ素直に感謝の気持ちを伝えてもらいたいと思います。

皆さんが入学した年の平成 28 年度入試は、総合学科が推薦入試で定員を 20 名も上回り、推薦入学者選抜では多くの不合格者を出し、一般選抜でも学校全体で倍率が 1.26 倍と 20 名以上の受検生が本校を望んでくれたにもかかわらず、合格を出せないというような状況でした。皆さんはその高い競争を克服して入学してくれました。その年の入学式では、本校が将来にわたって学び続ける生徒を育てる学校であること、専門的な知識・技能を身につけ道徳心や人間性を高め、技術を鍛え、心を鍛え、皆さんの将来の可能性を広げる学校であること。そして、多くの壁にぶち当たりそれを乗り越えながら成長していくことや、失敗を恐れず挑戦し続けること、挑戦して失敗することに対しては拍手を送ることができるような学校でありたい、というような話しをしました。皆さんこの 3 年間はどうかだったでしょうか。学び続ける心や、道徳心、人間性、挑戦する心は身についたでしょうか。

今年の入試の倍率は、皆さんが入学したときと同じように学校全体で高い倍率となっています。皆さんが中心となって、授業や実習、学校行事、部活動など学校の様々な活動を積極的に、丁寧に、楽しく実践してくれて、皆さんの輝く姿が中学生にとって、入りたい高校、行きたい学校につながったのだらうと感じています。

さて、これから皆さんは、大学、短大、専門学校等でさらに専門的な知識や技能を身につけようとしている人、就職して職業人としての資質・能力を高め、会社や地域に貢献しようとしている人などさまざまな道を歩んでいくこととなります。皆さんに私が最後に伝えたいこと、その一つが「本当にできる人は、知識を蓄積した学力より、学ぼうとする力を持っている」ということ、そして、「人は常に成長を目指すべきである」ということです。学ぼうとする力がある人は、必然と成長していくのでしょうか。学ぼうとする心を持ち続け、力をつけてください。学べば学ぶほど自分がどれだけ無知であるかを思い知らされます。自分の無知に気づけば気づくほど、より一層学びたくなります。学び続ける人、成長しようとする人、そんな人を目指してください。本日 157 の蕾の全てが花と咲き、これからの皆さんの人生で美しい花が咲き続けるよう私たちはいつまでも応援しています。

最後になりましたが、保護者の皆様にはこの 3 年間、時には厳しく、時には優しくお子様を励まし、支えていただき、また、本校の教育活動に絶大なるご理解とご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げますとともに、深く敬意を表します。

卒業生の皆さんと保護者の皆様と 3 年間ここでともに成長できましたことに感謝しつつ、第 117 期卒業生 157 名の皆さん、皆さんの前途が洋々で、幸多きことを心から祈念し式辞と致します。

平成 31 年 3 月 1 日

島根県立松江農林高等学校

校長 吉川 靖